

## 目標達成計画

作成日: 平成 26 年 5 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	安全面を意識するあまり、入居者様に窮屈な思いをさせていないだろうか。また、外出や入浴等、1人1人のペースを大切に過ごしてもらえているか、再度確認する必要があるのではないだろうか。	入居者様の生活リズムが本人本意になっているか見直すと共に職員1人1人の意識を改め、日常生活について支援のあり方を考える。	・安全面に配慮しながら、本人様のペースを優先的に考えた見守りや介助の方法を考える。トイレや入浴、口腔ケア等のタイミングや対応法を考える。 ・安全面等が理由で要望を受けにくい状況でも、入居者様にきちんと説明がなされているか確認する。	6ヶ月
2	48	・男性入居者様に対するアプローチに欠けている。女性に比べて、趣味分野での意欲が低くなっている男性入居者様にもっと生活の楽しみを見出してもらえないだろうか。 ・現在も本人の能力を活かせるように家事や趣味活動と一緒にやっているが、まだ工夫の余地があるのではないだろうか。	趣味活動支援の継続、個々に応じた新たな趣味や日課を見出し、職員主導や画一的な方法ではなく自然に勤めてもらえるようにする。	・男性入居者様に重点を置いたプログラムの実施を行う。地域の清掃活動への参加、男性のみの趣味サークル、外出日を設ける。個々でも積極的に関わりを持つ。 ・昔の風習や慣わし、個々の習慣に応じた活動支援を行う。(家でしていた事を聞き取り、実施、能力を活かしてもらえる機会を作る等する。	6ヶ月
3	13	介護技術等、現場で必要な実践的な勉強会は少ない。現場では、マニュアルに応じた介助は実践的には機能しない場合も多く、状態に応じた職員間での勉強会が必要ではないだろうか。	専門職として、より一層認知症ケアに関する知識を高める。	・職員に聞き取りを行い、現状に即した勉強会の企画、実施を行う。(特に介護技術面)	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。